

今年の夏もアツイ映画に出会いましょう

たまシネマ 通信



TAMA CINEMA FORUM

TAMA 映画フォーラム実行委員会

〒206-0025 多摩市永山 1-5 ベルブ永山 (永山公民館内)

代表：042-337-6661 直通：080-5450-7204 <http://www.tamaeiga.org/>

8月号 2019年8月9日発行

8月特別上映会

女の子よカメラを持とう × TAMA CINEMA FORUM

『21世紀の女の子』

会場：ベルブホール

(ベルブ永山 5F 京王永山駅・
小田急永山駅下車徒歩2分)

8月24日

①11:00 ~ 12:57 上映
…13:00 ~ 14:00 トーク…

山戸結希監督、竹内里紗監督、枝優花監督、東住苗監督が登壇
(司会：睡蓮みどり氏)

②16:00 ~ 17:57 上映
…18:00 ~ 19:00 トーク…

山戸結希監督、安川有果監督、ふくだもこ監督、木口健太氏が登壇
(司会：睡蓮みどり氏)

*トークはチケットの半券で入場できます。



前売:大人のみ 1,500円 当日:大人 1,800円(中学生以上) 子ども 1,200円(4歳~小学生)

※支援会員、障がい者とその付添者1名は1,200円。詳細は特設サイトにて。

『21世紀の女の子』特別上映会 特設サイト <https://www.tamaeiga.org/special/21st-century-girl/>



21世紀の女の子 ~21st Century Girl~

1980年代後半から90年代に生まれた映画界の未来の星である新進監督たちの作品を観た、様々な年代・性別の実行委員からのレビューをご紹介します！

作品紹介

山戸結希監督が企画・プロデュースを務め、自身を含め80年代後半～90年代生まれの新進映画監督、総勢15名が集結。“自分自身のセクシャリティあるいはジェンダーがゆらいだ瞬間が映っていること”を共通のテーマとして、各監督が8分以内の短編で表現するオムニバス作品。

山戸結希監督『離ればなれの花々へ』

山戸結希は有言実行の人である。映画の最前線で、発した言葉を必ず実現する。それが叶いそうにない願いであっても。孤独を映画にいかすこと、女の子が女の子のままで映画を撮ること。もうそれは夢ではない。めまいがするほど新しい映画をこれからも待っている。(由)

枝優花監督『恋愛乾燥剤』

万能な存在だと思う/思われる時間の中に少女性は浮かんでいる。万能ではない、と気づいた時からそれは移ろい、色あせて崩れていく。この作品に出てくる「ひみつ道具」は、泡沫のような少女性が消える直前までを時間から切り取っている。(理)

ふくだももこ監督『セフレとセックスレス』

「セフレとセックスレス」という一見矛盾しているような関係の中だからこそ、ゆれる感情が湿度を持ったリアルとして映し出されていた。ケンタのおどおどした表情がダメだなあと感じながらもとても愛おしいと感じてしまった。(実)

竹内里紗監督『Mirror』

「女性が女性を撮ること」に向けられる視線について、3人の女性を通し意識的に描かれる。鏡合わせの関係性を知的かつ情熱的に表現しきった。

もう恋には戻れない、けれどかつて恋していたことが今も彼女たちを突き動かしているように思えてならなかった。(緋)

安川有果監督『ミュージズ』

幻想は呪縛となり呪縛はさらなる幻想を生む。踊らされるのではなく蝶のように自由に空を舞えたらいいのに。肩書きを取っ払って二人が目と目を合わせたなら、そこに映る姿に呪縛を解く鍵があるのかもしれない。(櫻)

特別上映会 企画者メッセージ

1年前、山戸結希監督が「映画の中の女の子」について考え、語り合う、上映とトークの場を持ちたいという願いを打ち明けてくれました。そのパートナーとして私たちを選んでくれたこと、そこで全力でかけがえのない時間を共有できたことは今も宝物です。一緒に作り上げた場で語られた未来の映画への想いが、こんなに早く『21世紀の女の子』という形になって届けられたことに驚きを隠せません。再び「女の子よカメラを持とう」という合言葉を胸に監督たちと語り合う場を持ちたいと思います。(黒)

たまスタグラム



多摩エリアで出くわした、心動くヒトコマを。



夏といえば花火！実行委員みんなで手持ち花火をしました。

永山駅近辺のフォトジェニックな夏。



2月の『若おかみは小学生！』、3月の『ぼけますから、よろしくお祈いします。』と始まった、今年度の特別上映会もいよいよ8月でラスト！8月24日(土)、ペルプ永山でお待ちしています♪

今月の2本

実行委員が最近観た映画をレビュー。夏休みの映画のチョイスのご参考に！

『きみと、波にのれたら』 監督：湯浅政明／日本／2019年／96分

夏にぴったりの、ちょっと切ない恋愛ファンタジー。前半のシーンの、恋人になった主人公たちが笑いあいながらデュエットする若干ぐだぐだな歌声に、2人の幸せな時間が詰まっいてキュンとする。そのぶん、後半の悲しい展開とそれを乗り越えて強くなっていく姿に胸をうたれた。アニメーションながら、食べものの表現がとてもリアルで、サーフィンの休憩に砂浜で食べるタマゴサンドと淹れたてのコーヒーがものすごく美味しそう。(の)

『ハッピー・デス・デイ』 監督：クリストファー・ランドン／アメリカ／2017年／96分

ビッチな女子大生ツリーは、彼女の誕生日に謎の男に殺されてしまう。そして気付くと誕生日の朝に時間が戻っている。ツリーは何度も殺されながら真犯人を突き止めようとするが……。

本作にはSF、ホラー、サスペンス、コメディ、恋愛などのエンタメ映画の要素がたくさん詰まっているが、実はまどうことない青春映画であるのだ。それは主人公の成長からもうかがえる。

『カム止め』を気に入った方ならきっと楽しめます。続編の『2U』もぜひ。(よ)

7月20日(土)、映画『こどもしょくどう』(監督:日向寺太郎)上映会。

こども食堂が必要とされる現代社会の断面を子どもたちの視点で描いた本作。上映後に永山公民館と共催のスペシャルトークを実施しました。

ゲストの近藤さんは「ご近所の方々は どうして



いるのだろう?」との思いで活動を始めた」と語り、松本さんは「人手とお金と愛情が足りない」との現場の声を紹介。コーディネーターを務めた

加藤さんは「映画のなかで大人は『～しなさい』と言ってばかりだが、主人公のユウトは『どうしたの?』と声をかけていた」と指摘していました。補助席を出した会場内ではメモをとったり大きく頷いたりする姿が見られ、アンケートにも多くのコメントが寄せられました。今回の催しが、子どもも大人も声をかけあえる地域づくりのきっかけとなれば幸いです。(渉)

ゲストは左から、加藤悦雄さん(大妻女子大学 家政学部 児童学科 准教授)、近藤博子さん(気まぐれ八百屋 たんだん ワンコイン こども食堂 主宰)、松本靖子さん(NPO 法人シェア・マインド 代表理事)



TCF からのお知らせ

映画祭期間限定ボランティア 「たまシネマ隊」募集スタート!

11月開催「映画祭 TAMA CINEMA FORUM」に向けて、映画祭直前から終了までの PR や運営を担うボランティア「たまシネマ隊」を今年も大募集! 9/23(月・祝)に募集説明会を開催します。映画祭と一緒に盛り上げていただける皆様のご参加をお待ちしています。詳細は TCF ホームページにて。

支援会員さまを募集しています!

当映画祭を資金面でサポートいただける支援会員さまを募集しています。支援会員さま限定の特典をさまざまご用意しております。詳細は TCF ホームページにて。

【支援金寄付 個人会員】一口 1,000 円から
郵便振替番号 00160-5-541123
加入者名 TAMA 映画フォーラム実行委員会

訃報

2019年6月23日、水野信利名誉委員長が逝去いたしました。(享年83歳)

水野氏は1991年「映画祭 TAMA CINEMA FORUM」の立ち上げから TAMA 映画フォーラム実行委員会へ参加し、第5回から25回までの21年間、実行委員長を務められました。その後も名誉委員長として対外折衝から資金調達まで幅広く活躍されていました。

ここに謹んでお知らせするとともに、ご冥福をお祈りいたします。

TCF の最新情報やお問い合わせはこちらから

WEB www.tamaeiga.org 「TAMA 映画フォーラム実行委員会ホームページ」

SNS @tamaeiga (TAMA 映画フォーラム【公式】)

instagram [tama_cinema_forum](https://www.instagram.com/tama_cinema_forum)

facebook www.facebook.com/tamaeiga

t [tamaeiga](https://www.tamaeiga.org)



たまシネマ通信 2019年8月号 (2019/8/9 発行)

※無断転載を禁じます

発行元: TAMA 映画フォーラム実行委員会 〒206-0025 多摩市永山1-5 ベルブ永山(永山公民館内)
編集長: 野瀬 / 編集: 野瀬、陳、永瀬、薄葉、大坂 / 表紙イラストレーション: つづき / デザイン: 大坂 / 企画・協力: TAMA 映画フォーラム実行委員